

令和 6 年度鶴岡市決算の概要

- 普通会計
- 病院事業会計
- 水道事業会計・下水道事業会計

1 令和6年度普通会計決算

	令和6年度	令和5年度	増減
歳入 ①	797億3,527万円	768億6,853万円	28億6,674万円
歳出 ②	782億1,792万円	755億9,119万円	26億2,673万円
形式収支 ③=①-②	15億1,735万円	12億7,734万円	2億4,001万円
翌年度に繰り越す べき財源 ④	3億2,070万円	6,989万円	2億5,081万円
実質収支⑤=③-④	11億9,665万円	12億745万円	▲1,080万円
単年度収支 ⑥=⑤-⑤'	▲1,080万円	▲5億2,921万円	5億1,841万円
財政調整基金 積立金 ⑦	714万円	555万円	159万円
繰上償還金 ⑧	3億7,775万円	8億7,002万円	▲4億9,227万円
財政調整基金 取崩し額 ⑨	17億5,000万円	0円	17億5,000万円
実質単年度収支 ⑩=⑥+⑦+⑧-⑨	▲13億7,591万円	3億4,636万円	▲17億2,227万円

- ・ 普通会計の決算額は、歳入が797億3,527万円、歳出が782億1,792万円、いずれも令和2年度に次ぐ過去2番目の規模となった。
- ・ 歳入歳出差引額から翌年度に繰り越すべき財源を控除した実質収支は、11億9,665万円の黒字であり、繰上償還金の黒字要素や財政調整基金の取崩し額の赤字要素などを加味した実質単年度収支は、13億7,591万円の赤字となった。
- ・ 歳入では、定額減税などにより市税が減少した一方で、投資的経費の増に伴い市債が増加し、また、ふるさと寄附金は過去最大の28億6,000万円となった。
- ・ 歳出では、自治体に共通の事情として、給与改定等による人件費や賃金上昇・物価高による委託料をはじめとする物件費が増加する中、交付税の増分ではこれらを十分に賄えていない状況にある。また、7月の大雨災害の復旧経費や過去3番目の規模となった除雪対策費の増も、収支を下押しする要因となった。

2 令和6年度病院事業会計決算（荘内病院＋湯田川温泉リハビリテーション病院）

	令和6年度	令和5年度	増減
病院事業収益①	138億551万円	140億1,551万円	▲2億1,000万円
うち医業収益②	118億7,879万円	119億7,040万円	▲9,161万円
うち入院収益	87億7,938万円	86億2,061万円	1億5,877万円
うち外来収益	25億9,275万円	28億4,605万円	▲2億5,330万円
うち医業外収益③	15億3,491万円	17億84万円	▲1億6,593万円
病院事業費用④	148億5,556万円	143億199万円	5億5,357万円
うち医業費用⑤	138億9,817万円	134億3,961万円	4億5,856万円
うち給与費	70億2,498万円	68億6,726万円	1億5,772万円
うち材料費	23億2,846万円	24億88万円	▲7,242万円
うち経費	33億5,037万円	30億5,301万円	2億9,736万円
うち減価償却費	9億181万円	8億6,219万円	3,962万円
うち医業外費用⑥	7億8,653万円	7億3,597万円	5,056万円
収支（損益）⑦ （①－④－特別損益）	▲10億5,004万円	▲2億8,649万円	▲7億6,355万円

	令和6年度	令和5年度	増減
資本的収入⑧	29億3,259万円	23億2,486万円	6億773万円
資本的支出⑨	36億450万円	28億7,003万円	7億3,447万円
差引⑩ （⑧－⑨）	▲6億7,191万円	▲5億4,517万円	▲1億2,674万円

1 収益的収支

- ・ 全国の自治体病院に共通の事情として、職員給等の改定による人件費の増、物価高騰による委託料や光熱水費の増、コロナ病床確保料補助金の皆減といったことが挙げられる。
- ・ また、荘内病院の事情として、人口減少による相対的患者数の減や、医師の退職等による診療受け入れ体制の縮小により、患者数が減少し、外来収益の減を招いている。
- ・ 以上の事情などにより、収益的収支は、10億5,004万円の赤字となった。

2 資本的収支

- ・ 看護学校整備費の増や企業債償還金の増などにより、収支不足額は6億7,191万円となった。不足額は従来同様に内部留保資金等で補填した。

3 令和6年度水道事業会計決算

	令和6年度	令和5年度	増減
収益 ①	32億4,828万円	32億8,275万円	▲3,447万円
営業収益	28億1,188万円	28億5,606万円	▲4,418万円
営業外収益	4億2,853万円	4億2,660万円	193万円
その他	787万円	9万円	778万円
費用 ②	29億3,757万円	29億7,929万円	▲4,172万円
営業費用	28億7,637万円	29億403万円	▲2,766万円
営業外費用	6,120万円	7,526万円	▲1,406万円
その他	0	0	0
損益 ③=①-②	3億1,071万円	3億346万円	725万円

	令和6年度	令和5年度	増減
資本的収入 ④	5億9,145万円	2億4,816万円	3億4,329万円
資本的支出 ⑤	17億2,358万円	16億2,013万円	1億345万円
差引 ⑥=④-⑤	▲11億3,213万円	▲13億7,197万円	▲2億3,984万円
前年度未払充当財源	7,390万円	0	7,390万円
収支不足額 ⑦	▲12億603万円	▲13億7,197万円	▲1億6,594万円

1 収益的収支

- ・ 人口減少等に伴い給水収益が減少し収益全体としては減少となった。
- ・ 物価上昇による維持修繕や管理経費が増加したものの、給水量の減少による受水費の減少や耐用年数を過ぎた管路等の増加に伴う減価償却費の減少等によって、費用全体としては減少となった。
- ・ 収益的収支は3億1,071万円の黒字となった。

2 資本的収支

- ・ 企業債の借入を行いながら管路や配水池の耐震化、老朽管路更新等の建設改良工事を実施したことにより、収入・支出ともに増加し、収支不足額は12億603万円となった。不足額は従来同様に内部留保資金等で補填した。

4 令和6年度下水道事業会計決算

	令和6年度	令和5年度	増減
収益 ①	53億8,099万円	52億6,057万円	1億2,042万円
営業収益	26億5,511万円	26億5,126万円	385万円
営業外収益	27億2,017万円	25億7,575万円	1億4,442万円
その他	571万円	3,356万円	▲2,785万円
費用 ②	53億8,051万円	50億9,141万円	2億8,910万円
営業費用	50億3,560万円	46億9,832万円	3億3,728万円
営業外費用	3億4,491万円	3億9,309万円	▲4,818万円
その他	0	0	0
損益 ③=①-②	48万円	1億6,915万円	▲1億6,867万円

	令和6年度	令和5年度	増減
資本的収入 ④	51億2,641万円	39億9,899万円	11億2,742万円
資本的支出 ⑤	69億387万円	64億2,528万円	4億7,859万円
差引 ⑥=④-⑤	▲17億7,746万円	▲24億2,629万円	6億4,883万円
前年度未払充当財源	▲10億7,390万円	▲5億140万円	▲5億7,250万円
翌年度事業充当財源	▲4,597万円	▲1,933万円	▲2,664万円
収支不足額 ⑦	▲28億9,733万円	▲29億4,702万円	▲4,969万円

1 収益的収支

- ・ 人口減少等に伴い下水道使用料が減少したものの、一般会計からの繰入金や新たな補助事業の受入れによって収益全体としては増加となった。
- ・ 物価上昇による維持修繕や管理経費が増加したことによって費用全体としては増加となった。
- ・ 一般会計からの繰入金を精算したことによって前年度よりも黒字幅は減少したが、収益的収支は48万円の黒字となった。

2 資本的収支

- ・ 企業債の借入や補助金の導入を行いながら、処理区域拡大のための新規整備のほか、管路や処理場の耐震化・改築工事を実施したことにより、収入・支出ともに増加し、収支不足額は28億9,733万円となった。不足額は従来同様に内部留保資金等で補填した。